

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本講義では経営学の基礎を修得する。そのためにはまず組織論の基礎を修得し、企業経営、経営戦略、企業倫理、企業の国際化の順で、経営学で取り上げる領域の大半をカバーする。

経営学は生きた学問として身につけられなければならない。経営学は日々進歩しているため、基礎講座ではあるが、本講義では経営学の最新テーマや時事的な話題を可能な限り多く盛り込む。

学んだ知識をもとに日本経済新聞や経営関連誌を自主的に読み進めることは、経営学を効果的に修得する秘訣であり、講師は強くこれを奨励する。

授業計画

第 1 回	ガイダンスー経営学の学び方ー
第 2 回	組織論(1)ー組織とは何かー
第 3 回	組織論(2)ー組織の発達史ー
第 4 回	組織論(3)ー組織の構造ー
第 5 回	企業経営(1)ー企業とステークホルダーー
第 6 回	企業経営(2)ー企業の生産管理ー
第 7 回	企業経営(3)ー企業の労務管理ー
第 8 回	経営戦略(1)ー企業とマーケティングー
第 9 回	経営戦略(2)ー企業とイノベーションー
第 10 回	経営戦略(3)ー企業の財務戦略ー
第 11 回	企業倫理(1)ー企業と社会ー
第 12 回	企業倫理(2)ー企業の不祥事ー
第 13 回	企業倫理(3)ー企業統治のあり方ー
第 14 回	企業の国際化(1)ー国際化とはー
第 15 回	企業の国際化(2)ー日本企業の国際展開ー
第 16 回	期末試験

到達目標

本講義の到達目標は、受講生が経営学の基礎知識を身につけるとともに、将来、企業を中心とする組織に属し、与えられた役割を果たすにあたって、客観的に自身を位置づけ、効果的に能力向上を図ることができるようにすることである。本講義を通して組織に過度に依存することのない、自立した組織人を育てるための基礎を修得する。

履修上の注意

講義形式で行う。冒頭で前回講義の内容を振り連続性を重視して説明を行う。講義中で過去に配付したプリントを引用して説明することがあるので、講義に関しては配付済の資料を持参することが望ましい。実感をもってテーマを理解できるよう講師の実務経験を交えた講義を行う。講義中の私語、携帯電話の使用は厳禁とする。

予習復習

講義は、配付するプリントに含まれるパワーポイントに沿って、図表や資料を用いて進めるので、前もって資料を配付した場合は、あらかじめ眼を通しておくと効果的である。復習としては、配付したプリントと講義中のメモに目を通すとともに、学んだ知識をもとに日本経済新聞や経営関連誌を読み進めることが効果的である。

評価方法

期末に実施する論述試験を 70%、理解度テストの結果を 30%加味して評価する。出題の意図を理解し、講義で説明した内容を踏まえて論理的に解答しているかどうか重点を置いて評価する。

テキスト

教科書は使用せず、提供する資料をテキストとする。参考文献は各講義で明示する。